

# 潰瘍性大腸炎、クローン病、腸管ベーチェット病における免疫調節剤の有効性と副作用の検討

以下の研究について、本学で実施しておりますのでお知らせ致します。  
研究に関する問い合わせ等がありましたら、以下の連絡先にご連絡下さい。

研究課題名	潰瘍性大腸炎、クローン病、腸管ベーチェット病における免疫調節剤の有効性と副作用の検討
倫理審査受付番号	第2890号
研究期間	2018年3月倫理審査承認日～2023年3月31日
研究対象情報の取得期間	2006 (H18) 年1月1日以降、兵庫医科大学炎症性腸疾患内科で診療を受けた潰瘍性大腸炎、クローン病、腸管ベーチェット病の患者さんで、免疫調節剤（イムラン、アザニン、ロイケリン）の処方歴のある方を対象とします。
研究に用いる試料・情報	カルテ情報
研究概要	<p>（研究目的、意義） 潰瘍性大腸炎、クローン病、腸管ベーチェット病の治療では、免疫調節剤（イムラン、アザニン、ロイケリン）が用いられることがあります。本研究では、当院におけるこれら薬剤の有効性、副作用、レミケードなど他の治療薬に対する影響、薬剤代謝産物、適切な投与量等を検討致します。それにより、個々に応じた適切かつ安全な治療の確立を目標としております。</p> <p>（研究の方法） 本研究は兵庫医科大学のみで実施されます。対象の患者さんの通常診療において過去に取得された、またこの先取</p>

得される診療情報を用いて以下の項目の調査を実施します。

1. 臨床所見（年齢、性別、罹病期間、罹患範囲、疾患活動性、合併症、生活歴、既往歴、治療歴、手術歴など）
2. 検査結果（血液検査、内視鏡やCT、MRI など画像診断、内視鏡生検や外科切除標本などの病理診断等の結果）
3. 免疫調節剤に対する反応性、治療効果、副作用の出現の有無
4. 他の治療薬への影響、相乗効果

（個人情報の取り扱い）

1. 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名と患者番号、臨床情報です。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
2. 本研究で知り得た情報は、個人が同定できる形ではいかなる状況においても公表せず、かつ厳重に管理されます。
3. また、研究結果を学会、論文等で公表する際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

※本研究に関する質問や確認のご依頼や、ご自身のデータを使って欲しくないとお考えの患者さんは、下記へご連絡下さい。

#### 本研究に関する連絡先

兵庫医科大学 炎症性腸疾患センター内科  
准教授 渡辺 憲治（研究責任者）  
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1

TEL | （平日 09 : 00～16 : 00） 0798-45-6663